



酉年の念頭にあたって

豊浦町議会議長 工藤 敏和

町民の皆様、明けまして、おめでとうございます。
輝かしい新春をお健やかに迎えのことと心からお慶びを申し上げます。

また、常日頃からの議会に対する温かいご厚情とご支援に対し議員一同、心より深く感謝を申し上げます次第でございます。

私たちは、昨年10月に行われました町議会議員選挙により町民の皆様からの付託をいただき、町議会議員として選出されたところでございます。

選挙戦は、定数8名に10名が立候補する少数激戦となりましたが、2名の新人議員と元職1名が新たに選出されたことで、議会にも新風が吹き、一層の活性化が図られるものと期待しているところであります。

また、私こと去る11月15日に開催されました定例会11月会議の初議会において、議員各位のご推挙をいただき、伝統ある町議会の議長という要職を務めさせていただくことになりました。誠に身に余る光栄であり、今さらながら職責の重大さを痛感するとともに身が引き締まる思いでいっぱいです。

もとより、私は浅学非才の身ではありますが、地方自治の伸展と議会の円滑な運営のために誠心誠意、努力するとともに身を粉にして精進したいと考えております。

昨年は、熊本地震や北海道の台風災害等でそれぞれの地域において甚大な被害をもたらされたことは記憶に新しいところであります。津波こそないものの、東日本大震災の被災地の様相を彷彿とさせるものでもあり、被災地の皆様方のお気持ちがこれまで以上に理解できたところでありました。

このようなときこそ、地方自治体として無駄のない効率的な施策を展開し町民が安全で安心して暮らすことができる「元氣な豊浦町」にするため、議会の最大の役割と責務である監視機能の充実と強化に努めなければならないと考えています。

地方分権の進展に伴い地方公共団体の自己決定・自己責任の範囲が拡大し、意思決定機関である議会の役割が益々重要なものとなることから個々の議員がその責務を自覚し自己研鑽に努めることで、町民の皆様からの付託と期待に応えられるよう町政の振興・発展のために全身全霊で立ち向かう所存でございます。

どうか、本年も議会に対しまして、これまで以上のご厚情とご支援を賜りますことを切にお願い申し上げますとともに、町民の皆様方にとっての実り多き年であることをお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

地域とともにある学校を目指して

豊浦町教育委員会教育長 佐々木 浩 治



新年、明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、ますますご健勝にて新春をお迎えのこととお慶び申し上げますとともに、本年が皆様にとりましても明るく希望に満ちた一年となりますことをご祈念申し上げます。

また、日ごろより、皆様方におかれましては教育委員会の事業等に対しまして、特段のご支援・ご協力をいただき心より感謝申し上げます。

さて、昨年の事業を振り返りますと、本町の4つの学校が北海道教育委員会の指定を受け取り組んでおります「小中連携、一貫教育事業」の公開研究会を11月に開催いたしました。この大会には胆振管内はもとより、白糠町や沼田町など全道各地から総勢150名にも及ぶ参加者があり、中学校の先生が小学生に授業を行う「乗り入れ授業」や小学生と中学生が一緒に授業を行う「ジョイント教室」などを見ていただきました。全体会における研究のまとめでは、小中一貫教育を通して中学校へ行く不安感が解消されたり、

小・中学生が一緒に学ぶことでお互いに助け合いや学び合いが深まっていることなどが話されました。この小中一貫教育については、昨年度新たに「義務教育学校」が制度化されるなど、今注目を浴びている取組であります。豊浦町の特色ある教育活動として今後も豊浦町教育研究会と連携を深め推進してまいりますのでご支援願います。

また、次年度においては、平成28年度の教育行政執行方針でも示しておりますように、町内の4つの学校をコミュニティスクールに指定し、「学校運営協議会」を設置いたします。このことにより、学校が目指す子ども像を地域や保護者の皆様と共有しながら、一体となって子どもたちを育てる「地域とともにある学校」を創っていきたく考えております。未来を担う子どもたちの豊かな教育環境をつくるためには地域の力が必要となりますので、ご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。年頭にあたってのあいさつといたします。